

# 薬と学

昭和大学薬学部の教育と研究についての情報です。

発行責任者 山元俊憲  
昭和大学薬学部  
東京都品川区旗の台1-5-8  
電話：03-3784-8000 (代)

THE FOUNDING SPIRIT 建学の精神

**至誠一貫** 昭和大学は、薬学部のほか、医学部、歯学部、保健医療学部からなる日本で唯一の本格的医系総合大学です。本学の建学の精神「至誠一貫」は、真心を持って患者さんに尽くすことを意味します。薬学部では、患者さん中心の医療を実践するヒューマニズムあふれる薬学専門家の養成を目指します。

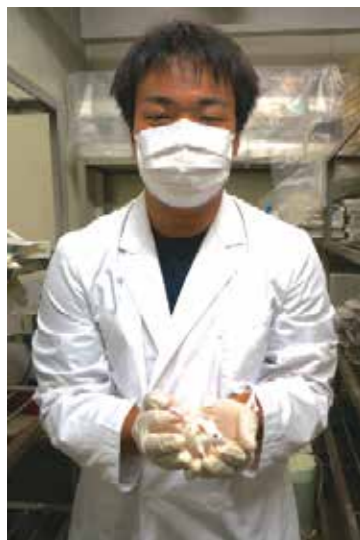
表題の「薬と学ぶ」は、薬についての知識を学習するだけでなく、その知識を持ちながら、薬についてのプロフェッショナルという専門性を生かしてチーム医療の中で患者さんに対応する能力を学ぶという意味を表現したものです。

EDUCATION 教育

## 総合薬学研究

昭和大学薬学部では、4年次に各薬学部研究室や医学部・歯学部の基礎研究室において、すべての学生が最先端の研究テーマを選択し、約5か月間の研究を行います。学年全員が一堂に会して、その成果をポスターで発表します。また、5年次および6年次にはそれぞれ「発展薬学研究」、「応用薬学研究」という選択科目として研究を継続し、より高度な研究へとつなげます。「総合薬学研究」では4年生がそれぞれ独自のテーマにより研究を行います。研究室ごとに大きな研究テーマが提示され、それを目安に学生は研究室を選びます。その後、実際の研究テーマは学生と研究室の先生が相談して決めることになります。

毒物学研究室では「乱用薬の生体影響」という大きなテーマで研究が行われており、石下さんは合成カンナビノイドの一斉分析法、阿部君・青木君は合成カチノンの精神賦活作用について研究を行っています。



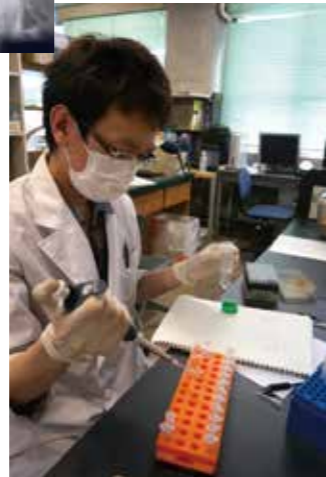
動物をかわいがることが良い実験結果につながる!! (阿部)



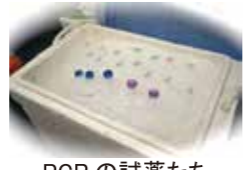
試薬を確認する鋭いまなざし (青木)



マウスの取り扱いは丁寧に!



試薬を間違えないように!



PCRの試薬たち



合成した危険ドラッグをGC/MSを用いて測定します (石下)

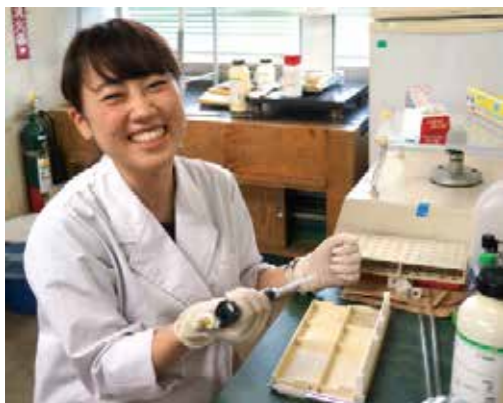


細胞培養では細心の注意をはらいます。(阿部)



ガスクロマトグラフィー・質量分析機 (GC/MS)

血液や尿など生体試料中の薬物を測定する場合、目的の物質を他の物質から分離する必要があります。そのための機械がGCで、物質の特定は質量分析 (MS) により行います。



合成遺伝子を電気泳動で分離します (石下)

### 危険ドラッグ

麻薬や覚せい剤などに匹敵する精神作用を持ちながら、化学構造が少しだけ違うために法的規制を受けない化学物質のことで、従来「脱法ドラッグ」と呼ばれていましたが、今年7月に危険な薬物であることを伝えるために命名されました。危険ドラッグの成分として、大麻と類似する作用をもつ「合成カンナビノイド」、覚せい剤と類似する作用を持つ「合成カチノン」、幻覚作用を示す「トリスタミン類」などのグループがあり、しばしばこれらが複数混ぜられています。

昭和大学の1年生全員が1年間を過ごす富士吉田キャンパスには、学生が自然環境の下で自然と触れ合うことにより心身を鍛えるなど、豊かな人間性を育む自然環境教育等を実践することを目的とした富士吉田自然教育園があります。自然教育園には大きく分けて4つのエリアが作られています。1つは自然の森、松林が残された森林エリア、2つめは自然の林の中を散歩したり、富士山を眺めたりできる散策エリア、3つめがハーブガーデンや野菜、果樹を栽培する畑のエリア、そして4つめがバーベキューや歓談ができるバーベキューヤードです。



焦がさないように!!



いっしょにやろう♡



大きくなってね!



美味しそう!!



キュウリ、大根、トウモロコシ...



BBQ終了! ごちそうさま!!



今日の収穫。皆さん、お疲れ様!

自然豊かな富士山の麓で、共に学ぶ仲間と語り合ったり、バーベキューで盛り上がりたり、もちろん、畑で野菜や果物を作って学生と一緒に食べたりしながら、授業や実習では体験できない多くの経験を通して、人として、医療人としての成長をサポートする、学生がつくる“学生の庭”が昭和大学にはあります。ぜひ、楽しんでみてください。

自然昭和大学富士吉田自然教育園 園長 倉田 知光

INFORMATION

情報

昭和大学の入試関連情報は、PCからアクセス <http://www.showa-u.ac.jp/admissions/index.html>



### なんだろう?

Q. ペットボトル症候群ってなんだろう?



この問題の解説は、 [http://www.showa-u.ac.jp/sch/pharm/kusuri\\_manabu.html](http://www.showa-u.ac.jp/sch/pharm/kusuri_manabu.html)

ご意見、ご質問 昭和大学薬学部 広報委員会  
〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8  
昭和大学薬学部毒物学部門内 担当: 沼澤 聡  
numazawa@pharm.showa-u.ac.jp